

【事業概要】

水産資源調査・評価推進委託事業 (我が国周辺水産資源：資源調査・評価) (試験研究 (受託事業))

北 朋紘*, 田畑瑠那, 太田 格

資源評価対象種の資源評価の高度化・精度向上を目的に、国立研究開発法人水産研究・教育機構と各都道府県の水産研究機関や大学等が共同事業体（JV）を組み、水産庁から事業委託を受けている。沖縄県水産海洋技術センターは、マチ類（アオダイ、ハマダイ、オオヒメ、ヒメダイ）、ソデイカ、スマ、イシガキダイの担当機関であり、スジアラの参画機関である。令和6（2024）年度は、これらの種の資源評価に必要な情報を収集した。

材料及び方法

1) 市場調査

県内10ヶ所（知念、那覇地区、イマイユ市場、中城浜、泡瀬、勝連、与那城、恩納村、石川、名護）の魚市場で漁獲物の体長組成を調査した。調査頻度は、原則、知念漁協のみ月に1回、それ以外は週3回を目安とした。

2) 漁獲量の集計

沖縄県水産海洋技術センターでは、1989年より県内各地のセリ情報を収集し、漁獲統計データベースを構築している（本永, 1991）。このデータベースを用いて、2023年（令和5年）に水揚げされた資源評価対象種各種の月別漁獲量を集計した。

3) 調査船調査(マチ類)

マチ類資源保護区のモニタリングおよび保護効果の検証を目的として、北タイキウ曾根および第2多良間堆におい

て、漁業調査船「図南丸」による底立延縄調査と丸稚ネット（幅2m、丈6m、目合335 μ m）による仔稚魚の採集を行った。

4) 標本船調査(ソデイカ)

県内4漁協に所属する延べ20隻のソデイカ漁船から操業日誌を収集し、標準化CPUEを推定した。

5) 資源特性調査

ソデイカとイシガキダイの標本を購入し、年齢、成長、成熟等について調査した。

結果及び考察

各資源評価対象種の調査の概要は、水産研究・教育機構水産資源研究所水産資源研究センターが発行する「資源評価調査報告書」または「資源評価調査状況報告書」として取りまとめられている。資源評価対象種各種ごとの調査項目と関連報告書については表1に示す。

文 献

本永文彦, 1991: 市場情報収集解析システムの開発. 平成元年度沖縄県水産試験場事業報告書, 72-90.

表1 資源評価対象種各種の調査項目と関連報告書

資源評価対象種 調査内容		関連報告書	報告書URL
マチ類	市場調査, 漁獲量の集計, 調査船調査	令和7（2025）年度マチ類（奄美諸島・沖縄諸島・先島諸島）の資源評価	https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2026/03/details_2025_47.pdf
ソデイカ	標本船調査, 資源特性調査	令和7（2025）年度資源評価調査状況報告書（拡大種）	https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2026/03/report_2025_163.pdf
スマ	市場調査, 漁獲量の集計	令和7（2025）年度資源評価調査報告書（拡大種）	https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2026/03/trends_2025_241.pdf
イシガキダイ	市場調査, 漁獲量の集計, 資源特性調査	令和7（2025）年度資源評価調査状況報告書（拡大種）	https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2026/03/report_2025_206.pdf
スジアラ	市場調査, 漁獲量の集計	令和7（2025）年度資源評価調査報告書（拡大種）	https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2026/03/trends_2025_160.pdf

*E-mail : kitatomo@pref.okinawa.lg.jp, 本所（現所属：水産海洋技術センター石垣支所）